

第	42	回	一ホ会	「古代日本とユダヤ人」
			いちもくかい	

会場の段取り、予約は馬場久枝様をお願いいたしております。

今回の開始時刻は 18時からです	世話人	ハラカフシュウイチロウ 原川修一郎
---------------------	-----	----------------------

携帯電話 090-7793-8376

近畿鴻峰会 本日ご参加の皆様へ

本日のご案内 本日はご参加を頂き誠にありがとうございます。

1) 日時 2026年2月5日(木) 18時~19時 講演会 / 19時過ぎ~20時30分ころ 夕食懇親会

2) 会場 大阪弁護士会館 会議室は当日 1階の案内板をご確認願います。

大阪市北区西天満1-12-5 (電話06-6364-0251)

3) 講演者様 第78期 本廣 隆之 様 ご講演60分程度

(もとひろ たかゆき)



本廣氏近影

1972年 山口高校(78期)卒業

山口大学工学部卒業

NECにてコンピュータ系(C&C)の営業活動に従事

趣味：旅行、バドミントン

テーマ	古代日本とユダヤ人
-----	-----------

ご出席予定者(合計17名)	順不同	近況のお話(夕食懇談会で)	2026.02.02現在
67期	橋本 洋之 様	74期	工藤 義夫 様
67期	田辺 勇次 様	76期	伊藤 智博 様
67期	土井 輝満 様	77期	岩佐 善雄 様
68期	齋藤 直美 様	78期	本廣 隆之 様
72期	中村 英夫 様	81期	松原 武夫 様
72期	南 正晴 様	81期	田原 幸夫 様
72期	藤本 春紀 様	91期	宮崎 健二 様
73期	山川 清 様		
74期	馬場 久枝 様		
		74期	原川修一郎 事務局

※講師の方募集中です。

以上宜しくお願い申し上げます

次回以降の予定です

第43回 2026年6月4日(木)	講師 吉田 富士江 様(86期)
※講師の方募集中です。	以上宜しくお願い申し上げます

第42回 一木会 講話

古代日本とユダヤ人

2026年2月5日(木)

78期 本廣 隆之(もとひろ)

目次

- 1.はじめに(プロフィール)
- 2.興味のきっかけ
- 3.古代日本の変遷
- 4.ユダヤ人の渡来と同化

はじめに(プロフィール)

- 1954年(昭和29年)山口市鑄銭司生まれ
- 山口市立潟上中学校卒
- 1972年 山口高校卒業(第78期)
- 1977年 山口大学工学部卒
- 同年 NEC入社 営業関係部門(東京都港区)
- 2021年 退職後 阪神地区に転居
- 趣味：旅行 バドミントン 社交ダンス 歴史探訪*

※ 歴史探訪 1978年より約20年に亘りグループで日本全国約250ヶ所

興味のきっかけ

身近なユダヤ文化の痕跡

- 『囃子言葉』

ハッキョイ、ノコッタ	「?????」
ヤーレン、ソーラン	「?????」
ワッショイ	「?????」
ジャンケンボン	「?????」
ラッセ・ラッセ・ラッセラー	「?????」
ドッコイショ	「?????」
- 祇園祭りの傘・鉾の緞帳
中東由来の図柄はなぜ?
- 仁徳天皇陵の規模は世界一
誰によって造られたの?

『囃子言葉』のユダヤ語意味

- ・ ハッキョイ、ノコッタ

?????

- ・ ヤーレン、ソーラン

?????

- ・ ワッショイ

?????

古代日本の変遷

【年代】	【時代】	【特記事項】
BC30C～	石器	摩耗石器、打製石器
BC17C～	縄文	DタイプDNAの貴少人種 縄文土器(世界最古)
BC50C～	弥生	OタイプDNAのアジア人種
AD6C～	古墳	大和王朝成立
AD6C～	飛鳥	聖徳太子十七条の憲法
AD7C～	奈良	律令国家成立
AD8C～	平安	古事記・日本書記の編纂 新撰姓名録(しんせんしょうじゆろく) 源氏物語(世界最古小説)

ユダヤ人の渡来と同化

- 謎の武人埴輪 → ユダヤ人 **新発見**



- ユダヤ人の特徴
美豆良(みずら)と帽子

ユダヤ人の渡来と同化

- ディアスポラ “民族離散”
- 渡来の5つの波

第1波 BC13C 出エジプト/縄文時代・日高見国・スサノオ
第2波 BC722～ アッシリア捕囚と失われた10支族/日本建国
第3波 BC3～2C 秦の始皇帝・徐福と3千人/秦氏各地に渡来
第4波 3～4C 弓月国から秦氏2万人/応神天皇が受け入れ
第5波 431～ エフェソス公会議・ネストリウス派/蘇我氏

(参考文献) 日本とユダヤの古代史&世界史(田中英道・茂木誠)

コヒーブレイク（健康）

- 血圧値は世につれ国につれ

2024年（最新の日本） ???/???

1959年 WHO推奨 160/95
→『年齢+90』

1987年 日本 180 / 100 患者 200万人

2000年 日本 140 / 90 患者 2900万人

2019年 日本 130 / 85 患者 4000万人

※ 協会けんぽ 健康診断での病院受診基準



懸案だった瑠璃光寺五重塔の修理がほぼ終わった。最終的な完成は 12/19 とのことなので、この日に何らかのセレモニーがあるのだろうが、ともかく当初予定よりも3ヶ月半も早くなったのは何とも喜ばしいことである。ここに掲載した写真は 11/24 の撮影だが、11/20 とこの日に、私は二つの非常に印象的な研修を受講した。その一つは 11/20 に屋根の檜皮(ひわだ)の葺き替えを担当された市内の「有限会社ひわだや」での研修で、檜皮葺について色々と学ぶ機会があった。檜皮葺は決して中国からの伝来技術ではなく、我が国固有の技術であり、鎌倉時代から神社仏閣や御殿、茶室などに用いられてきた。また、檜皮は生きている檜の樹皮から取り、その檜の樹齢は 80~100 年のものが理想的とのことである。そして、檜皮の大きさは、横幅が上部 3 寸(10cm)、下部 5 寸(15cm)、高さ 2 尺 5 寸(75cm)の台形で、これを少しずつズラして何層も重ねて、あの独特のカーブを造り出す。固定は竹釘で行い、職さんが竹釘を口に含んで、素早く連続的に打ち込んで固定するシーンはテレビでもお馴染みである。因みに五重塔 5 層の張替には、その檜皮が 30 万枚必要だったそうで、これだけ集めるのに約 1 万本の檜から皮を剥いだという。一瞬ホント?とってしまったが事実。そう言えば、一昨年だったか、1 束 30 枚分を寄付したから、ほんの少しは改修に貢献したと言って良いだろう。



もう一つは大内文化に関する講演会で、プリンストン大学のトーマス・コンラン教授によるもの。教授は、大胆にも、大内氏 31 代当主義隆は当時、実質上の日本国王だった、そして戦乱の京都から山口へ都を移す・遷都計画を練っていたという説を唱え、それによれば、山口に花開いた京文化、明や朝鮮との貿易の独占と海外文化の導入、交換比率決定権、銀、銅鉱山開発などによって、富を独占し高い文化を誇り得たことがそれを可能にした根拠であると考えている由。そして、1551 年の政変は、家臣の陶晴賢独自の謀反というよりも、その背後で京都の三好長慶が糸を引いていたと考えるべき、というのが教授の主張である。反論もあるらしいが、この主張には本当に驚かされた。(2025.11.28 記)

和顔愛語

一つの言葉でケンカして

一つの言葉で仲直り

一つの言葉で 頭が下がり

一つの言葉で 心が痛む

一つの言葉で 楽しく笑い

一つの言葉で 泣かされる

一つの言葉はそれぞれに

一つの心を持っている

きれいな言葉は きれいな心

優しい言葉は 優しい心

一つの言葉を大切に

一つの言葉を 美しく

北原白秋 (ひとつの言葉) より

一言

たった一言に、人生が支えられていることがある。

「いつも明るい朝の挨拶ありがとうございます。実は救われた日もありました。転勤前にお礼を言いたくて」

横断歩道を守る老人にそう語る勤め人を見た。

さりげない誰かの一言が、心の中の暗がりには灯をともし、その効果に対して疑いはあるまい。

不思議なものである。自分がかけた言葉は覚えていなくても、かけられた一言は、ずっと胸に残っている。

だからこそ、今日出会う誰かに、心からの一言を届けてみよう。気負わず、飾らず、そして、真心を込めて。

けれど、一言には、逆に想像できないこわさもある。何気ない一言が、相手の気持ちを閉ざし、心を傷つけてしまうことだって、そんな、世界中の人が発する一言が、今日一日何十億何百億と飛び交って、世界が平和になったり、戦争に近づいたりしているのである。

そう考えれば、一言には、人生どころか世界を変える力がある。よき方へも、そうでない方へも。だから言葉には、やさしさと慎みを忘れまい。今日も誰かへ温かい一言を。



心を
寄せあい
あたたかい
社会を



